

# リーグ戦代替大会実施要項

## 1. 開催日

本試合は10月3日、4日、10日、11日、17日、18日、24日、25日、31日、11月1日に実施する。但し、以上の日程に試合が実施できない場合は対戦校と立合の協議により既定の試合日程以前かつその週の平日に実施することができる。

なお男女の試合日程の分け方は基本的には以下の通りとする。

10月3日 女子

10月4日 男子

10月10日 男子

10月11日 女子

10月17日 女子

10月18日 男子

10月24日 男子

10月25日 女子

10月31日 女子

11月1日 男子

対戦校同士で試合日程を変更した場合はこの限りではない。

## 2. 勝敗の決定

勝敗は的中の多少によって決定する。

## 3. 団体競技における勝敗の決定

①的中同数の場合、各選手が一手競射を行い勝敗を決める。

②前項によってもなお勝敗が決まらない場合は、以後選手が一本競射を勝敗が決まるまで続行する。

③競射は試合と同様、各校が同時に行う。

## 4. 参加資格

参加資格は本連盟に加盟する大学のみ有する。

## 5. 出場資格

①選手の出場資格は都学連規約第四十一条に準ずる。

②出場資格のない選手が出場した場合、当該選手の矢は全て外れとする。

③リーグ戦に参加する部員は9月1日までに部員登録を済ませ、選手登録をしなければならない。但し9月21日を予備登録期日として定め、予備登録期日まではメールにて追加の選手登録を認めるものとする。

## 6. リーグ戦代替試合と女子部リーグ戦代替試合との区分

以下の場合、女子部員はリーグ戦代替試合への出場を一試合三名まで認める。但し、リーグ戦代替試合に登録した女子部員は女子部リーグ戦代替試合への登録を認めない。この制度の適用申請は予備登録期日までとする。

- ①当連盟女子部に加盟していない大学。
- ②男子部員が八人未満の大学、もしくは男子部員は八人以上在籍しているがやむを得ない事情により男子の選手登録可能人数が八人未満の大学。
- ③女子部員が四人未満の大学。

## 7. 試合編成

試合のブロック編成は令和二年度リーグ戦の結果をもとに本試合の参加大学を順に並べて編成する。

## 8. 競技方式

競技はリーグ方式による総当たり制とする。

## 9. 試合方式

- ①出場選手の定員は四人二立の計八名とする。但し、出場選手が定員に満たない場合は六名又は七名で試合を行うことができる。
- ②矢数は一選手一立四射で二〇射し、一大学一六〇射とする。
- ③一立四人順立とする。
- ④対戦校は同時に行射するものとする。

## 10. 試合会場

各大学のホーム道場を会場とする。但し、道場がない等やむを得ない事情がある場合、一般の道場を使用する。一般の道場の確保が不可能だった場合、貸し出し可能な加盟校道場を使用する。

## 11. 立合

- ①立合は本連盟が第三者をもってこれを定める。
- ②立合が道場には入れない場合は ZOOM 等を用いてリアルタイムで試合を撮影、共有するものとする。

## 12. 立合に対する懲戒

立合に不都合な行為があった場合、本連盟は試合当事校・立合の双方から事実確認の上、都学連規約第二十七条に基づいて立合校に懲戒を行うことができる。

## 13. 選手の通知

各大学は試合開始前に当日の試合に出場する選手八名と控え四名の氏名を立合及び相手校に通知しなければならない。通知なく出場した場合、当該選手の矢を全て外れとする。

## 14. 選手交代

- ①試合中の選手交代は、五射目以降認める。

- ②立の途中での選手交代は認めない。
- ③選手交代では立順の変更は認めない。また自立から他の立への移動も認めない。
- ④選手交代後の再出場は認めない。
- ⑤競射における選手交代は、各立にこれを認める。

#### 15. 選手交代の通知

選手交代する時には、当該する立が本座に進む前に立合及び相手校に通知しなければならない。通知なく交代選手が出場した場合、当該選手の矢を外れとする。

#### 16. 選手・選手交代の通知方法

選手・選手対応の通知方法は、ZOOM のチャット機能、メール、LINE 等の方法によるものとし、対戦校と立合の協議により定める。

#### 17. 棄権

- ①出場校が棄権した場合、相手校の勝利とする。
- ②次の各号に該当する場合、立合は相手校と協議の上、当該大学を棄権とみなすことが出来る。
  - 一、試合当日一切の連絡が取れない場合。
  - 二、試合開始時刻に無断または正当な理由なくして遅刻した場合。
  - 三、出場選手が選手定員に満たない場合。
- ③正当な理由なく棄権した場合、本連盟は都学連規約第二十七条に基づき懲戒を行うことが出来る。

#### 18. 追い越し発射

前の選手を追い越して離れた場合、追い越した選手の矢を外れとする。なお基準は離れとする

#### 19. 順位決定

各ブロック内の順位は勝数によって決定する。但し順位で勝数が同じである場合、的中率の多少によって順位を決定する。的中率も同じである場合は、全試合の内の最高の中率で決する。

#### 20. 出場校的中率

出場校的中率は、該当の大学が出場した試合の総射数で総的中数を除し、算出する。その時、棄権による不戦試合・順位決定戦・入替戦・同中競射の行射は加算しない。また、一試合における射数は、試合の参加人数にかかわらず一六〇射とする。

#### 21. 個人表彰

個人的中上位者の表彰は、例年通りの枠で行う。尚、例年では「60射以上の射数」を引いた者が対象となるが、本年度はリーグ編成の関係から3試合しか対戦を行えない大学も存在するため、「(試合数-1試合)×20射」の射数を引いた者を対象とする。また、下限を40射とする。具体的には、4試合行う大学の選手は60射以上、3試合行う大学の選手は40射以上の射数で表彰の対象とする。

尚、リーグ戦個人的中記録会は本年度は行わない。

## ・時間割

基本形	
9:00	会場準備完了
9:40	付け矢開始
10:30	試合開始
12:30	試合終了

  

短縮系①（付け矢短縮、3時間対応）	
9:00	会場準備完了、付け矢開始
10:00	付け矢終了、試合開始
12:00	試合終了

  

短縮系②（付け矢なし、2時間対応）	
9:00	会場準備完了、試合開始
11:00	試合終了

\* 女子の場合はさらに両校の立が同時に引くことで試合時間を1時間程度まで短縮することができる。

\* 以上の時間割はあくまで目安であり対戦校と立合との協議で自由に変更することができる。

## ・事前に対戦校、立合の三者で確認していただきたい事項

試合の日程、試合の時間割、選手の通知方法、選手交代の通知方法、立合が道場に入れるかどうか、葉入れる場合は各道場での遵守事項、ZOOMの管理方法。

## ・オンラインでの試合の進行

立合、対戦校がすべて別会場にいる場合の進め方を例示する。試合の進行は協議によって調整することができる。

・準備する物 撮影用端末①、撮影用端末②、立合用端末

1. 撮影用端末①を射場側からの、選手が移るように設置する。①は選手と的の照合を行う。
2. 撮影用端末②を看的側から安土が見えるように設置する。②は的中の確認を行う。
3. 使用する的に異常がないか②で的を一つ一つ撮影して確認する。
4. 確認が終わったら②をすべての的が移るように看的側に設置する。
5. 試合が開始したら①で「すべての的」と、「現在引いている選手」を映す。
6. 撮影者は一本一本の的中をその場で「○か×」で相手に伝える。立合はその場で記録用紙に記録する。的中が不明な矢はその旨を伝え、確認の段階で的中を確定する。
7. 全員が引き終わったら、②を持って確認に入る。確認の際は一つ一つの的を大きく映す。立合は記録と照合する。立合は自身の端末で①から送られるすべての的を映した映像を確認し、②の面角外の的が操作されていないことを確認する。

詳細はオンラインマニュアルを参照。

令和3年度リーグ戦代替大会編成表		
男子		女子
法政大学	A ブ ロ ツ ク	日本大学
明治大学		桜美林大学
日本大学		中央大学
桜美林大学		法政大学
慶應義塾大学		専修大学
早稲田大学	B ブ ロ ツ ク	明治大学
中央大学		慶應義塾大学
一橋大学		日本女子体育大学
國學院大學		青山学院大学
東京工業大学		國學院大學
立教大学	C ブ ロ ツ ク	早稲田大学
専修大学		東京農業大学
東京農業大学		立教大学
東京大学		一橋大学
玉川大学		東洋大学
東京都立大学	D ブ ロ ツ ク	東京都立大学
東洋大学		明治学院大学
明治学院大学		立正大学
立正大学		成蹊大学
日本体育大学		東京工業大学
上智大学	E ブ ロ ツ ク	大正大学
東京農工大学		創価大学
学習院大学		東京大学
帝京大学		日本体育大学
		学習院大学
成蹊大学	F ブ ロ ツ ク	帝京大学
東京都市大学		成城大学
大正大学		駒澤大学
駒澤大学		上智大学
		玉川大学
青山学院大学	G ブ ロ ツ ク	お茶の水女子大学
創価大学		学習院女子大学
成城大学		東京農工大学
亜細亜大学		東京都市大学
		亜細亜大学